平成 21 年度～23 年度　習志野市事務事業評価表

1．事務事業基本情報

事業名	№56　津田沼浄化センター増設・改築事業					担当課	下水道課		予算費目名	款	項	目
事業概要及び目的	津田沼浄化センターは昭和 59 年度に供用開始し、老朽化が著しいこと及び生活排水の流入量増加により、処理能力が限界に近づいていることから、H20 年度からH23 年度の 4 箇年の継続事業として水処理施設 10,500m3/日、汚泥脱水機の増築工事並びに汚泥処理棟及び沈砂池設備の改築事業を実施する。	成果目標	成果指標	・水処理施設能力 ・汚泥処理棟他改築工事						01	01	03
			計画値	・水処理施設 10,500m3/日が供用開始して 100% ・改築工事が全て完了して 100%		年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度		
						予算額（単位：円）	1,172,000000	2,093,800,000	1,574,800,000	749,400,000		
						決算額（単位：円）	786,000,000	1,651,800,000	1,382,800,000			
						従事職員数	5	5	4			
事業の位置づけ	章	3	安全で安心な暮らしができるまち	★左記施策（号）との結び付き 公共用水域の水質保全を図ると共に、水質環境基準を達成し、下水道施設の充実が図られる。		従事延べ日数	247	247	182			
	節	3	快適な生活環境の創造			民間活力の導入	現状は？：□実現している　□将来可能性はある　□将来困難だが可能性はある　■余地なし					
	項	1	都市基盤の整備・充実				相手は？：□市民　□市民活動団体　□企業・学校等					
	号	4	下水道施設の充実				形態は？：					

2．進捗状況

年度	21 年度評価（20 年度実施した事項についての評価） 平成２１年７月２４日記入				22 年度評価（21 年度実施した事項についての評価） 平成２２年６月２日記入					23 年度評価（22 年度実施した事項についての評価） 平成２３年４月１９日記入				
実施計画上の予定	整備	実施計画の予定年度終了後	実施	★継続している事項、未着手事項がある理由	実施計画上の予定	整備	実施計画の予定年度終了後	実施	★継続している事項、未着手事項がある理由	実施計画上の予定	整備	実施計画の予定年度終了後	実施	★継続している事項、未着手事項がある理由
完了した事項	・中央監視制御設備改築工事（H19～H20） ・ ・			各工事は継続事業として実施中	・汚泥処理棟改築工事（ H20～H21） ・ ・				水処理施設土木工事は残土処理・仮設工法の変更により工期を延伸した為。 なお、水処理施設機械・電気工事は継続事業として実施中。	・水処理施設土木工事（H20～H22） ・水処理施設機械・電気工事（H21～H22） ・				分流沈砂池・汚泥脱水機改築工事及び電気工事については、継続事業として実施中。
継続している事項	・汚泥処理棟改築工事（H20～H21） ・水処理施設土木工事（H20～H21） ・				・水処理施設土木工事（H20～H22） ・水処理施設機械・電気工事（H21～H22） ・					・分流沈砂池改築工事（H22～H23） ・汚泥脱水機改築工事（H22～H23） ・分流沈砂池・汚泥脱水機電気工事（H22～H23）				
未着手事項	・ ・ ・				・ ・ ・					・ ・ ・				
改善案				成果指標 実績値 水処理： — 改築工事： — 達成率 水処理： 0% 改築工事： 0%	水処理施設の供用開始を平成 22 年度末に予定していることから、各工事間で綿密な工程管理を行う。				成果指標 実績値 水処理： — 改築工事： — 達成率 水処理： 0% 改築工事： 0%	継続事業の最終年度となることから各工事間で綿密な工程管理を行う。				成果指標 実績値 水処理： 10,500 ㎥ 改築工事： — 達成率 水処理： 100% 改築工事： 0%

3．今後の方向性　※課内協議を経て管理職が記入してください。

	21 年度 平成 21 年 7 月 24 日協議実施					22 年度 平成 22 年 6 月 4 日協議実施					23 年度 平成 23 年 4 月 22 日協議実施				
今後の方向性 ＊根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか？なぜその「コストの方向性」をえらんだか？別紙「評価の視点」を参照してください。	成果の方向性	休廃止	縮小	現状維持	拡充	成果の方向性	休廃止	縮小	現状維持	拡充	成果の方向性	休廃止	縮小	現状維持	拡充
	拡充				○	拡充				○	拡充				○
	現状維持					現状維持					現状維持				
	縮小					縮小					縮小				
	休廃止					休廃止					休廃止				
	コストの方向性					コストの方向性					コストの方向性				
	★上記を選択した根拠 H23 年度完成を目指し継続事業として実施しており、新施設は高度処理施設の導入による処理水質向上を図っていることから、成果・コストともに拡充する。					★上記を選択した根拠 H23 年度完成を目指し継続事業として実施しており、新施設は高度処理施設の導入による処理水質向上を図っていることから、成果・コストともに拡充する。					★上記を選択した根拠 H23 年度完成を目指し継続事業として実施しており、改築事業により処理能力が向上することから、成果・コストともに拡充する。				
方向性を実現するため実施すること（改革案）	ライフサイクルコストを考慮した機器の選定やリサイクルによる環境への配慮を行う。					ライフサイクルコストを考慮した機器の選定やリサイクルによる環境への配慮し、改築工事を推進する。					ライフサイクルコストを考慮した機器の選定やリサイクルによる環境への配慮し、改築工事を推進する。				
前年度改革案の実施状況	■実施　□一部実施　□検討中　□その他　★実施以外は具体的に記載してください。					■実施　□一部実施　□検討中　□その他　★実施以外は具体的に記載してください。					■実施　□一部実施　□検討中　□その他　★実施以外は具体的に記載してください。				